

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2026年1月23日
 中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月 日	深 度 (m)	水 温 (°C)	塩 分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備 考
					Atsc 細胞/L	その他 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (13.0)	1/13	0	1.55	31.99	0	0	0	10	10	Dn10
		5	1.56	31.98	0	0	0	10	0	
		10	1.56	31.98	0	0	0	10	0	
		15	1.57	31.98	0	0	0	20	20	Dn20
厚岸 (3.5)	1/19	0	0.49	31.99	0	0	0	0	0	
		5	1.65	32.57	0	0	0	10	0	
		10	1.82	32.64	0	0	0	40	0	
		13	1.84	32.65	0	0	0	10	0	

Atsc= *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーセース コンプレックス (*Alexandrium catenella* (Group I)と*Alexandrium pacificum* (Group IV)を含む), Am/t = *Alexandrium minutum*/*Alexandrium tamutum* アレキサンドリウム・タムータム/アレキサンドリウム・ミヌタム(有毒種の可能性)
 Ao=*Alexandrium ostenfelderii* (有毒種)

Df = *Dinophysis fortii* ディノフィラス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィラス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* ディノフィラス・ロツンデータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィラス・インファンディブル

Dm = *Dinophysis mitra* ディノフィラス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィラス・ノルウェンジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィラス・ルッジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* ディノフィラス・カウデータ

コメント

麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は標津でディノフィラス・アキュミナータ、ディノフィラス・ノルウェンジカ、
 厚岸でディノフィラス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)